

■ レビュー

先月までに方向性の整理が進んだ「せとうちウェルネスデザイン・ラボ」の取り組みを強化して進めている。

事業	① オーガニック農業	② ウェルネストラベル	③ ウェルネステック
概要	<p>オーガニックな農業により健康で安全な食の生産、環境との調和、在来種の活用や保護などに取り組む多くの農産物の生産者とそのネットワークが三原には存在する。</p> <p>それらを後押しし、市場や流通のニーズとつなげ、ブランド化を推進する制度導入（三原ビオ認証）や、定期配送便などの仕組みづくり、販促展開する。</p>	<p>安全で健康的な食、ヨガ、禅、ウォーキングやゆっくりした滞在経験など、ニーズや顧客に応じた健康的でクリエイティブな時間を提案するウェルネストラベルの推進。</p> <p>キーパーソンや企業との連携、旅行商品の造成や手配をできる環境を整備し、旅行経験を提供する。</p>	<p>県立広島大学地域連携センターや、地域内のIT技術者との連携による姿勢改善アプリの開発や市民への提供を切り口としたウェルネステック関連サービスの開発・提供と産業・人材の集積促進。アクセラレータ環境の整備。</p> <p>遠隔診療、健康診断データ活用、バイタルデータなど連携した、利用者の包括的な健康を後押しする。</p>
進捗(11月)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 有機JAS認証に関する講習会を受講 ▶ 地域の参加型認証（PGS: Participatory Guarantee System）に関する研究 ▶ 第4回有機農家の収穫祭へのボランティアスタッフとしての参加と関係者との意見交換、関係構築の推進 ▶ 都市部関係者との企画に関する前進 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ウェルネストラベルに関する可能性を確認 ▶ 企業研修等に関する受け入れ機会の確保 ▶ 備後地区合同研修会の誘致 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 外部大学への資源リサーチ
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 全体進行スケジュール表・分担表の作成【すぐ】 ▶ オーガニック農家のリストアップやネットワーク化の促進【R2年12月頃まで】 ▶ 「脱・予定調和シリーズ2」として、制度関係の専門家や地域の農家、料理人等を巻き込んだ勉強会を企画・調整【R3年1月頃】 ▶ ふるさと納税サービスの確立【R3年4月開始】 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ふるさと納税サービスの検討：広報戦略課の進める「さといこ」のプラットフォーム活用と、地域支援型農業（CSA）の体験サービスを組み込んだウェルネスツアーの造成・提供開始【R2年4月】 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 県立広島大学への提案と意見交換の機会設定【R2年12月】 ▶ 「脱・予定調和シリーズ3」として、アプリ開発のエキスパート、アクセラレータ関係の専門家、医療経営関係の専門家を招聘し、勉強会を企画・調整。【R3年4月頃】 ▶ 資金調達やサービス提供のための手段についての情報収集やネットワークづくりを進める

事業	④ プロモーション
概要	三原の“ハピネス”につながるコンセプトを確立し、ビジュアルガイドラインの整備やブラッシュアップを進めるとともに、そのコンテンツや素材、サービスを整理し、統合的に発信できる動画やウェブサイト、SNS発信等を進める。 発信は、三原において“ハピネス”を感じることでできる瞬間（三原時間）切り取って紹介する。
進捗(11月)	▶ コンセプトが整理された
今後の予定	▶ SNSページ作成・発信【R3年4月から】 ▶ サービスやコンテンツを統合したウェブサイト作成の検討

せとうちウェルネスデザイン・ラボが進める「ウェルネスプロジェクト」

わたしたちの“いきる”を実現するプラットフォーム

せとうちウェルネスデザイン・ラボは「ウェルネスからハピネスの輪づくり」をスローガンに、自然・エコで健康的でローカルなライフスタイルや価値を、せとうち・三原市を中心に、産官学、国内外の人や企業とともにつくり、分かち合う民間有志のプラットフォームです。オーガニック農業、ウェルネストラベル、ウェルネステック（姿勢改善アプリ開発等）などを中心に、せとうちと、すべてのハピネスを望む私たちをつなぎます。

・サービス

- オーガニックな農と食**
三原にはオーガニックな農業により健康で安全な食の生産、環境との調和、在来種の活用や保護などに取り組み多くの農産物の生産者とそのネットワークが存在します。それらのこだわりを拾い上げ、後押しし、市場や流通のニーズとつなげ、ブランド化を推進する制度導入（三原ピオ認証）や、定期配達便などの仕組みづくり、販売促進を展開します。
- ウェルネストラベル**
安全で健康的な食、ヨガ、禅、ウォーキングやゆっくりした滞在経験など、ニーズや顧客に応じて健康的でクリエイティブな時間を過ごしていただけるウェルネストラベルの提案、市場で顧客を持つキーパーソンや企業との連携、旅行商品の造成や手配をできる環境を整備し、旅行体験を提供します。これらは企業の福利厚生や研修等への活用についての営業にも展開します。
- ウェルネステック**
三原市に立地する県立広島大学地域連携センターや、地域内のIT技術者との連携による姿勢改善アプリの開発や市民への提供を進めます。これらの都市部の企業やビジネスパーソン向けへの対応へと広げるのほか、遠隔診療、健康診断データ活用、栄養学、バイタルデータなどと同期・連携し、統合型の健康管理アプリへの展開やサービスとの連携により、利用者の包括的な健康を後押しし、常に三原とつながる仕掛けへと発展させます。

・プロモーション

コンセプト・コンテンツ・サービスをつなぐ発信：動画・ウェブサイト・SNS etc.

多面的な波及効果の創出

- ▶ **市民の健康とハピネス** サービス活用により、市民が健康で幸せになること。健康寿命の伸延。
- ▶ **シティプロモーション** 三原の特色やこれらの価値観の転換とマッチする町のブランド化。
- ▶ **関係人口の創出** アプリ、食、旅行、福利厚生やワーケーションを通じた関係人口創出。
- ▶ **ツーリズム** ウェルネストラベルを中心とした観光消費額の増加はリピート化。
- ▶ **農業振興** 農業の振興、ブランド化や高付加価値化。食糧安全保障の確保。
- ▶ **産業振興・企業誘致** 関連産業による産業や人材の集積等。
- ▶ **移住・定住** ブランド価値の高まりや産業集積による移住・定住者の増加。

コンセプト

せとうちへ、かえろう。

Returning back to Setouchi, your home.

“いきる”の原点にかえる場所、ハピネス世界一をめざす、三原の価値の輪づくり。

美しいせとうちの島と海、タイムスリップしたかのような農村風景と西条瓦が特徴的な家々、山の幸、海の幸を守り、オーガニックな農業を志す生産者のネットワーク、海や山を生かしたSUPやヨガ、アウトドアアクティビティ、わたしをととのえる禅寺、健康を研究する大学や医療機関、そしてアクセス良い陸海空の交通インフラ、三原は私たちがのかえる場所、ハピネス世界一を体現する素材が揃っています。

